

# アイヌの人たちの歴史・文化等に関する学習

豊富町立豊富中学校 学級数 5 (校長 畠山 博次)

## 1 実践のポイント

- (1) アイヌの人たちの歴史・文化等に関する学習を位置付けた総合的な学習の時間の工夫
  - ふるさと学習との関連を図った単元の指導計画の工夫
- (2) 生徒が主体的に探究する指導の工夫
  - アイヌの人たちの歴史・文化等に関する学習への興味・関心等を高める指導の工夫
  - 生徒の課題解決を図る「民族共生象徴空間『ウポポイ』」の施設見学
  - 学びのつながりを実感させる指導の工夫

## 2 実践の内容

### (1) アイヌの人たちの歴史・文化等に関する学習を位置付けた総合的な学習の時間の工夫

#### ○ ふるさと学習との関連を図った単元の指導計画の工夫

本校では、生徒が「ふるさと豊富町」への誇りや愛着をもつことができるよう、総合的な学習の時間において、ふるさと教育の充実を図っている。

今年度の第3学年では、探究課題を地域の伝統や文化に関する内容で設定し、「アイヌの人たちの歴史・文化等に関する学習」と「ふるさと学習」の二つの単元で年間指導計画を構成することにより、アイヌの人たちの歴史・文化等に関する学習を踏まえて、自分たちの住む地域の歴史や文化等に関する学習を深めることができるよう指導の工夫を図った。

### (2) 生徒が主体的に探究する指導の工夫

#### ○ アイヌの人たちの歴史・文化等に関する学習への興味・関心等を高める指導の工夫

「課題の設定」では、生徒がアイヌの人たちの歴史・文化等に関する興味・関心や疑問などをもつことができるよう、教師が身近な地域名の由来となっているアイヌ語や、豊富町とアイヌの人たちとのつながりなどについて意図的に取り上げるなど、指導の工夫を図った。

#### ○ 生徒の課題解決を図る「民族共生象徴空間『ウポポイ』」の施設見学

「情報の収集」では、生徒一人一人が、設定した課題について見学や体験、インタビュー等を通して解決を図ることができるよう、修学旅行の行程に「民族共生象徴空間『ウポポイ』」の施設見学を位置付け、活動の充実を図った。

「整理・分析」では、生徒一人一人が課題について、自分の考えや意見をもつことができるよう、設定した課題ごとに調べたことを整理するとともに、地域におけるアイヌの人たちの歴史・文化等とのつながりや関わり等を分析させた。

#### ○ 学びのつながりを実感させる指導の工夫

「まとめ・表現」では、各教科等で身に付けた言語能力や情報活用能力を生かしレポートを作成するとともに、レポートの交流に基づき新たな疑問を出し合う等、次の学びにつなげる指導の工夫を図った。



【「ウポポイ」で情報収集する生徒の様子】

## 3 実践の成果 (○) と課題 (●)

- 民族共生象徴空間「ウポポイ」を活用した見学や調査活動を位置付けたことにより、生徒はアイヌの人たちの歴史・文化等に対する興味・関心を高めるとともに、自分なりの考えや意見を明確にすることができた。
- 今後、ふるさと学習における深い学びをより一層推進するために、アイヌの人たちの歴史・文化等に詳しい外部人材を積極的に活用していく必要がある。

項目	事前	事後
アイヌの人たちの歴史や文化について、もっと調べたいと思うか	53%	74%
今、住んでいる地域の歴史や自然について関心があるか	43%	74%